

## II. 償却資産申告の記載例

### (1) 償却資産申告書

#### (償却資産課税台帳)

#### の記入方

**住所・氏名**  
 ●初めて申告される方：住所等を正確に記入してください。  
 ●2回目以降の方：初回申告時の住所・氏名が印字してあります。**変更がある場合は訂正してください。**

**個人番号又は法人番号**  
 ●マイナンバー制度により、通知された個人番号（12桁）又は法人番号（13桁）を、**右づめで**記入してください。

前年前に取得したもの（イ）	前年中に減少したもの（ロ）	前年中に取得したもの（ハ）
前年までに申告された資産の取得価額の合計です。 ※2回目以降の方は印字してあります。	前年中に減少した資産の取得価額の合計を <b>資産の種類別に記入</b> してください。	●初めて申告される方 ⇒申告する資産の取得価額の合計を <b>資産の種類別に記入</b> してください。 ●2回目以降の方 ⇒前年中に取得した資産の取得価額の合計を <b>資産の種類別に記入</b> してください。

令和 年度 償却資産申告書 (償却資産課税台帳)

令和 年 月 日 半田市長 殿

所有者コード 12345678

住所 半田市東洋町2丁目1番地 (電話 0569-21-3111)

氏名 半田市電機 株式会社 代表取締役 半田 太郎 (印)

3 個人番号又は法人番号

4 事業種目 家電販売 (資本等の金額) 15 百万円

5 事業開始年月 昭和46年8月

6 この申告に回答する者の氏名及び氏名 半田 花子 (電話 21-3111)

7 税理士等の氏名

8 短縮耐用年数の承認 有・無

9 増加償却の届出 有・無

10 非課税該当資産 有・無

11 課税標準の特例 有・無

12 特別償却又は圧縮記載 有・無

13 税務会計上の償却方法  定率法  定額法

14 青色申告  有  無

資産の種類	取 得 価 額			
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計 (イ)-(ロ)+(ハ) (ニ)
1 構築物				
2 機械及び装置				
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、機具及び備品	6798900	150000	826800	7475700
7 合計	6798900	150000	826800	7475700

15 半田市における事業所等資産の所在地

1 東洋町2-1

2

3

16 借用資産 (有・無)  有  無 貸主の名称等 半田市リース(株)

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家

18 備考(添付資料等) 該当する項目に○をつけてください。  
 ①資産の増減(あり・なし)  
 ②該当資産なし  
 ③廃業・解散・転出等(令和 年 月 日)

第26号様式記載要領 「個人番号又は法人番号」欄には、所有者の個人番号(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号。以下「番号法」という。)第2条第5項に規定する個人番号をいう。)又は法人番号(番号法第2条第15項に規定する法人番号をいう。)を記載すること。「個人番号又は法人番号」欄に個人番号を記載する場合には、左側を1文字空けて記載すること。

資産の種類 評価額 (ホ) ※決定価格 (ヘ) ※課税標準額 (ト)

1 構築物

2 機械及び装置

3 船舶

4 航空機

5 車両及び運搬具

6 工具、機具及び備品

7 合計

**所有者コード**  
 独自の申告書を使用される場合は、送付した申告書に印字してある所有者コードを転記してください。※(個人番号)マイナンバーではありません。

**8 短縮耐用年数の承認 ~ 14 青色申告まで**  
 該当する方を○で囲んでください。

**半田市における事業所等資産の所在地**  
 半田市内の資産所在地を記入してください。2箇所以上の事業所等の資産所在地がある場合は、それぞれの所在地を記入し、その主たる所在地の番号を○で囲んでください。

**借用資産**  
 該当する方を○で囲んでください。借用資産がある場合には貸主の名称を記入してください。

**備考**

- ◎前年中に資産の異動がなかった場合
  - ①資産の増減(あり・なし)のなしに○をつけてください。
- ◎申告する資産がない場合
  - ②該当資産なしに○をつけてください。
- ◎廃業、解散、転出等をした場合
  - ③廃業、解散、転出等に○をつけてください。また、その年月日を記入してください。
- ◎住所、氏名等に異動があった場合には、異動年月日、旧住所、氏名等を記入してください。
- ◎非課税、特例該当資産は、その適用条項を記入してください。
- ◎送付先を変更・指定等したいときは、その住所を記入してください。
- ◎その他、伝達事項がある場合は、記入してください。

半田市のシステムで計算しますので、記入する必要はありません。  
 ただし、電算処理による全資産申告をする場合は、必ずご記入ください。

# 種類別明細書

(増加資産・全資産用)

の記入方

### 資産の種類

資産の種類ごとに番号を記入してください。

1. 構築物
2. 機械及び装置
3. 船舶
4. 航空機
5. 車両及び運搬具
6. 工具、器具及び備品

### 資産の名称等

資産の名称等を漢字、ひらがな、カタカナ、算用数字、アルファベットを用いて記入してください。

### 数量

右詰めで記入してください。

### 取得年月

年号はアルファベットで記入してください。 昭和・・・「S」 平成・・・「H」 令和・・・「R」

取得年月とは、原則、所有権を取得した日を指します。ただし、償却資産の種類、機能、企業の形態、内容等によっては、事業の用に供することができる状態になった時期をいいます。(例：監督官庁の許認可を必要とする場合 → 当該許認可があった日)

### 取得価格(イ)

資産の取得価額を記入してください。取得価額には、運賃、荷役費、保険料、据付費等が含まれます。なお、圧縮記帳については認められておりませんので、実際の取得価額を記入してください。

### 耐用年数

該当する年数を右詰めで記入してください。P. 2をご参照ください。

※所有者コード		令和 年度		種類別明細書 (増加資産・全資産用)										半田市電機 株式会社								
12345678				取得年月		取得価額 (イ)		耐用年数		減価残存率 (ロ)		価 額 (ハ)		※課税標準の特例		※課税標準額		増減事由		摘 要		
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	年	月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価 額	率	コード	課税標準額	増減事由	摘要							
01	6	1	冷蔵庫	1	S	48	2	3797160	6	0.				1-2 3-4								
02	6	2	イス テーブル	1	S	48	2	1738440	5	0.				1-2 3-4								
03	6	3	電子レンジ	1	S	46	8	158500	6	0.				1-2 3-4								
04	6	4	ガスレンジ	1	S	52	11	346800	6	0.				1-2 3-4								
05	6	5	冷凍庫	1	S	52	12	138000	6	0.				1-2 3-4								
06	6	6	クーラー	2	S	50	4	620000	6	0.				1-2 3-4								
07	6	7	アンドン	1	R	1	2	150000	10	0.				1-2 3-4								
08	6		コピー機	1	R	1	8	480000	5	0.				1-2 3-4								
09	6		ファックス	1	H	23	9	346800	5	0.				1-2 3-4								
10														1-2 3-4								
11														1-2 3-4								
12														1-2 3-4								
13														1-2 3-4								
14														1-2 3-4								
15														1-2 3-4								
16														1-2 3-4								
17														1-2 3-4								
18														1-2 3-4								
19														1-2 3-4								
20														1-2 3-4								
小 計																						

半田市のシステムで計算しますので、  
記入する必要はありません。  
ただし、電算処理による全資産申告を  
する場合は、必ずご記入ください。  
(右記をご参照ください)

**減価残存率(ロ)、価額(ハ)**  
電算処理による全資産申告を行う場合は、個別の資産に係る額を記入してください。

**課税標準の特例、課税標準額**  
電算処理による全資産申告を行う場合は、特例率を記入してください。  
なお、特例の適用を受ける資産については、決定価格に特例率を乗じた額を課税標準額にしてください。

**増加資産の場合**  
該当するものを○で囲んでください。  
1. 新品取得 2. 中古品取得 3. 移動受入  
4. その他

**減少資産の場合**  
該当するものを○で囲んでください。  
1. 売却 2. 滅失 3. 移動 4. その他

**摘 要**  
次のような事項があれば記入してください。  
(1) 課税標準額の特例、非課税がある場合は、その旨の表示と適用条項  
例：非課税(地方税法第0条)  
(2) 他市町村からの移管・移設  
例：〇〇市から移管  
(3) 前年前取得の資産で、記載漏れの場合  
(4) 前年以前の増減  
(5) その他、各資産の評価に必要な事項

前年中に減少した資産及び前年以前に無くなっている資産は、  
印字してある該当資産を横線で抹消してください。  
※半田市では、減少資産用の種類別明細書を使用しておりません。

前年中に取得した資産  
及び前年度までに申告もれの資産を記入してください。